



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 株式会社 安永  
コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,344	7.9	951	49.4	941	532.4	613	
29年3月期第2四半期	16,069	4.6	636	252.0	148	357.4	46	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 627百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 535百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	51.32	
29年3月期第2四半期	3.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	34,147	11,064	32.4	924.82
29年3月期	33,389	10,520	31.5	879.38

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,064百万円 29年3月期 10,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		7.00	11.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				5.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	1.5	1,200	18.3	1,000	11.2	700	104.8	58.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	12,938,639 株	29年3月期	12,938,639 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	975,309 株	29年3月期	975,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,963,355 株	29年3月期2Q	11,963,362 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や国内需要の持ち直しを背景に、雇用環境は着実に回復しており、個人消費についても堅調な推移が見られました。しかしながら、朝鮮半島情勢や物価上昇に伴う実質購買力の低下などの懸念材料により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内市場については新型軽自動車や新型スポーツ用多目的車(SUV)の販売が好調で堅調に推移しました。一方、海外市場では、米国で1月～9月の新車販売台数が前年同期比1.8%減少し、また中国でも新車販売の伸びは鈍化しており、先行きは不透明な状況となっています。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高173億44百万円(前年同期比7.9%増加)、営業利益9億51百万円(前年同期比49.4%増加)、経常利益9億41百万円(前年同期比532.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億13百万円(前年同期は46百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 【エンジン部品事業】

国内生産は減少したものの、海外子会社における生産が比較的堅調に推移した結果、売上は微増となりました。一方、国内生産におけるプロダクトミックス等により営業利益は減少しました。その結果、売上高101億11百万円(前年同期比0.6%増加)、営業利益2億8百万円(前年同期比51.4%減少)となりました。

#### 【機械装置事業】

国内自動車業界の旺盛な設備投資意欲を受け、工作機械の販売が順調に推移し、検査測定装置の受注も前期に引き続き好調を維持しています。利益面でもプロダクトミックス等により営業利益は黒字に転じました。その結果、売上高52億28百万円(前年同期比35.2%増加)、営業利益5億23百万円(前年同期は1億4百万円の営業損失)となりました。

#### 【環境機器事業】

海外向けエアーポンプの販売減少に加え、集合住宅向けディスポーザーシステムの販売が減少したことにより、売上高及び営業利益は減少しました。その結果、売上高18億22百万円(前年同期比8.3%減少)、営業利益2億9百万円(前年同期比28.7%減少)となりました。

#### 【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億82百万円(前年同期比13.5%増加)、営業利益22百万円(前年同期比15.8%減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億58百万円(前連結会計年度末比2.3%)増加し、341億47百万円となりました。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億86百万円(前連結会計年度末比3.4%)増加し、178億40百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の増加17億29百万円や受取手形及び売掛金の減少5億30百万円及び電子記録債権の減少4億75百万円等によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億71百万円(前連結会計年度末比1.1%)増加し、163億7百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加1億53百万円等によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億35百万円(前連結会計年度末比6.0%)増加し、148億17百万円となりました。

この増加の主な要因は、短期借入金の増加7億円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6億20百万円(前連結会計年度末比7.0%)減少し、82億65百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少3億73百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億43百万円(前連結会計年度末比5.2%)増加し、110億64百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金の増加5億30百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ17億37百万円増加し、52億23百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、25億41百万円(前年同期は9億63百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少額9億86百万円、税金等調整前四半期純利益9億26百万円、減価償却費7億85百万円、たな卸資産の減少額1億80百万円、仕入債務の増加額1億55百万円等の増加要因、及び法人税等の支払額4億67百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、8億2百万円(前年同期は4億76百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億37百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、0百万円(前年同期は3億10百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出8億77百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1億80百万円、社債の償還による支出1億10百万円等の減少要因、及び短期借入金の増加額7億円、長期借入による収入5億51百万円等の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月19日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,625	5,355
受取手形及び売掛金	6,000	5,470
電子記録債権	941	465
商品及び製品	1,193	1,243
仕掛品	3,385	3,178
原材料及び貯蔵品	1,358	1,311
繰延税金資産	20	24
未収入金	342	396
その他	390	394
貸倒引当金	△5	△0
流動資産合計	17,253	17,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,275	11,847
減価償却累計額	△6,830	△6,955
建物及び構築物(純額)	4,445	4,892
機械装置及び運搬具	25,909	26,025
減価償却累計額	△21,889	△22,025
機械装置及び運搬具(純額)	4,019	4,000
工具、器具及び備品	5,733	5,763
減価償却累計額	△5,424	△5,461
工具、器具及び備品(純額)	309	301
リース資産	2,307	2,243
減価償却累計額	△403	△538
リース資産(純額)	1,904	1,704
土地	2,254	2,263
建設仮勘定	1,471	1,396
有形固定資産合計	14,405	14,558
無形固定資産	47	52
投資その他の資産		
投資有価証券	625	738
繰延税金資産	47	39
その他	1,018	926
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,683	1,697
固定資産合計	16,136	16,307
資産合計	33,389	34,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268	4,386
電子記録債務	415	439
短期借入金	3,650	4,350
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,855
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,879	1,927
リース債務	358	369
未払法人税等	455	317
賞与引当金	551	493
工事損失引当金	9	11
設備関係支払手形	7	15
その他	369	431
流動負債合計	13,982	14,817
固定負債		
社債	550	440
長期借入金	6,098	5,724
リース債務	1,578	1,415
繰延税金負債	117	146
役員退職慰労引当金	45	42
環境対策引当金	7	7
退職給付に係る負債	413	414
資産除去債務	75	75
固定負債合計	8,886	8,265
負債合計	22,868	23,083
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,444	6,975
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,371	10,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	318
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	126	33
退職給付に係る調整累計額	△211	△189
その他の包括利益累計額合計	148	162
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,520	11,064
負債純資産合計	33,389	34,147

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	16,069	17,344
売上原価	13,845	14,671
売上総利益	2,223	2,673
販売費及び一般管理費	1,587	1,722
営業利益	636	951
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	6	7
受取賃貸料	10	9
為替差益	-	35
違約金収入	72	-
受取補填金	-	42
その他	17	17
営業外収益合計	110	118
営業外費用		
支払利息	72	78
為替差損	462	-
減価償却費	26	2
操業準備費用	-	30
その他	36	16
営業外費用合計	598	128
経常利益	148	941
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	10	-
減損損失	-	13
固定資産除却損	5	2
特別損失合計	16	15
税金等調整前四半期純利益	133	926
法人税、住民税及び事業税	166	308
法人税等調整額	14	3
法人税等合計	180	312
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	613
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	613

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	85
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	△501	△93
退職給付に係る調整額	26	22
その他の包括利益合計	△488	13
四半期包括利益	△535	627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△535	627
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	133	926
減価償却費	895	785
減損損失	-	13
有形固定資産売却損益(△は益)	9	△0
有形固定資産除却損	5	2
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	22
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	26	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△58
受取利息及び受取配当金	△10	△12
支払利息	72	78
為替差損益(△は益)	373	△39
売上債権の増減額(△は増加)	292	986
たな卸資産の増減額(△は増加)	△249	180
仕入債務の増減額(△は減少)	139	155
前受金の増減額(△は減少)	△280	33
未収消費税等の増減額(△は増加)	126	△11
その他	△343	△33
小計	1,176	3,020
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△72	△78
法人税等の還付額	0	53
法人税等の支払額	△152	△467
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>963</b>	<b>2,541</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	111	3
有形固定資産の取得による支出	△584	△837
有形固定資産の売却による収入	5	10
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△8	△13
無形固定資産の売却による収入	0	-
その他	△0	34
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△476</b>	<b>△802</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800	700
長期借入れによる収入	100	551
長期借入金の返済による支出	△1,268	△877
社債の償還による支出	△110	△110
セール・アンド・リースバックによる収入	339	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△123	△180
配当金の支払額	△47	△83
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17	1,737
現金及び現金同等物の期首残高	3,846	3,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,829	5,223

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,053	3,867	1,987	15,908	160	16,069	—	16,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	113	0	113	247	361	△361	—
計	10,053	3,981	1,987	16,022	408	16,430	△361	16,069
セグメント利益又は セグメント損失(△)	428	△104	294	618	26	645	△8	636

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,111	5,228	1,822	17,162	182	17,344	—	17,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	329	—	329	239	568	△568	—
計	10,111	5,557	1,822	17,491	422	17,913	△568	17,344
セグメント利益	208	523	209	941	22	963	△12	951

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。